

授業改善推進中期プラン **数学**〔中学校第2学年〕

昭島市立清泉中学校

学年等		項 目	内 容
平成5年度第1学年	平成5年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○「分かるようになりたい」という前向きな意識は強い。 ▲算数の基本的な計算が定着していない生徒も多く、知識・技能の観点では努力を要する生徒の割合が約3割程度いる。 ▲課題に対し、主体的に取り組むことができない生徒も見受けられる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・基礎・基本的な計算力 ・学びの繋がりを生かし、課題を解決できる思考力・判断力・表現力 ・協働学習を通して、課題に対して多面的・多角的な見方をする力
		具体的な授業改善の方策	・適切な習熟度別授業の実施する。 ・小テスト、単元テストや家庭学習(宿題)で学習内容の復習と定着を図る。 ・問題解決型学習を取り入れ、グループワーク等協働学習を行い、学びを深める。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	・基礎・基本的な計算力を身に着けることができた生徒は全体の5割程度であり、テスト等の分布が真ん中に凹んだ形となっている。低学力層の底上げが大きな課題である。
平成6年度第2学年	平成6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	▲前向きな気持ちで授業に取り組むことができない生徒もいる。 ▲今までの基礎・基本的な計算ができる生徒が約5割程度である。 ▲課題に対し、主体的に取り組むことができない生徒も見受けられる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・基礎・基本的な計算力。 ・学びの繋がりを生かし、課題を解決できる思考力・判断力・表現力。 ・問題解決の方法を多面的・多角的に考えることができる力。
		具体的な授業改善の方策	・適切な習熟度別授業の実施。 ・基本を丁寧に、生徒の「できた」という達成感に繋がる教材提示。 ・計画的な中テストの実施。 ・タブレット端末を活用した家庭学習。
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和7年度第3学年	令和7年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ	